

代々木図書館新聞

よよぎとしょかんしんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. **28**
2014年5月15日

代々木図書館 2014年5・6・7月の予定

5月

- 5月15日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 5月17日(土) 15時～15時30分
おはなしとこうさく会
- 5月22日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 5月24日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 5月29日(木) 15時～15時30分
おはなし会

6月

- 6月5日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 6月19日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 6月21日(土) 15時～15時30分
おはなしとこうさく会
- 6月26日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 6月28日(土) 9時～
雑誌リサイクル

7月

- 7月3日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 7月17日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 7月19日(土)
体験! 1日図書館員
- 7月24日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 7月26日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 7月31日(木) 15時～15時30分
おはなし会

左から:『中央線オレンジ色の電車今昔50年』三好好三ら著 JTBパブリッシング/『山手線ウグイス色の電車今昔50年』杉崎行恭著 JTBパブリッシング/『昭和60年国鉄山手線物語』新人物往來社編 新人物往來社



上:山手線代々木駅は、開業当初、現埼京線・貨物線の辺りにホームが開設されていました。右:東口の屋根には、ドーム状に加工した古いレールが再利用されています



代々木駅・ 100年を越えて

歴史とトリビア

●代々木駅の歴史

代々木図書館の最寄駅である代々木駅。その歴史は1906年(明治39)に始まりました。

この年、甲武鉄道(中央線の前身)が、代々木駅を開業。その3年後には、日本鉄道・品川線(山手線の前身)が、甲武鉄道への乗り換え駅として代々木駅を開業したのです。開業時には品川線のホームが離れていて、現在の埼京線・貨物線が走っている場所にありました。1924年(大正13)に明治神宮の造営と山手線の複々線化に合わせて、両鉄道のホームを一本化しました。2012年度の統計では、一日平均70・418人の乗客数で、JR東日本1668駅中60位というかなり利用者数の多い駅となっています。

●目線が高い代々木駅

代々木駅は、山手線の中で一番

標高の高い位置にあります。最も標高の低い品川駅が2・896mなのに対し、代々木駅は38・68mです。この差は、なんとオフィスビル9階分に相当します。

●落書きボードが交流の場

1980年～1990年頃まで駅の落書き対策として、山手線内回り(2番線)ホーム先頭付近に、「落書きボード」が設置されました。これは広告の裏紙を2枚貼ったもので、駅員さんが夜半に毎日貼り替えていたそうです。

予備校やアニメの専門学校があるという場所柄、合格祈願や受験への激励メッセージ、アニメやマンガのキャラクターが数多く描かれ、利用者のコミュニケーションの場となって、みんなの目を楽しませていました。

2014年5月・6月・7月の休館日

5月 18(日)・20(火)・27(火) **6月** 3(火)・10(火)・12(木)・15(日)・17(火)・24(火)

7月 1(火)・8(火)・10(木)・15(火)・20(日)・22(火)・29(火)

中央図書館長から任命状を受けて、仕事が始まります



1日図書館員

3月22日、小学5年生二人が図書館の仕事を体験しに来てくれました。仕事内容は、貸出や返却、予約本の処理や本のカバーかけなど盛りだくさん。本を棚に戻す作業では、棚と本の背に貼ってあるラベルとをにらめっこしながら、一冊ずつ丁寧に戻していく姿に、スタッフの頬も緩みました。

また、本に透明のカバーを掛ける作業では、少々苦戦しながらも綺麗に仕上げてくださいました。

最後に、それぞれにおすすめの本を一冊選んで、児童コーナーに展示をするためのポップを書いてもらいました。

次回は7月に実施します。ぜひご参加ください！

白狐魔記
齊藤洋
鎌倉幕府ができた少し前に生まれた狐の白狐魔礼が歴史上の事件に立ち合い、その時代を見て感じる狐目線のとてもおもしろい物語

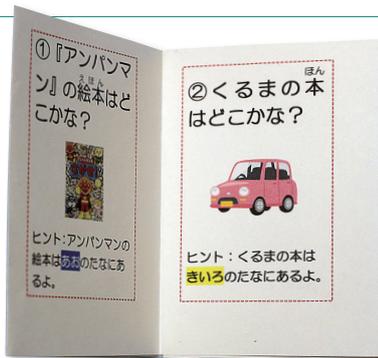
私の嫌いな探偵
東川篤哉さんのドラマ化もした本です。探偵事務所での会話も、トラックもとても面白いユーモアミステリーです。
ぜひ読んでみてください！

1日図書館員さんからのおすすめ本はこれ！

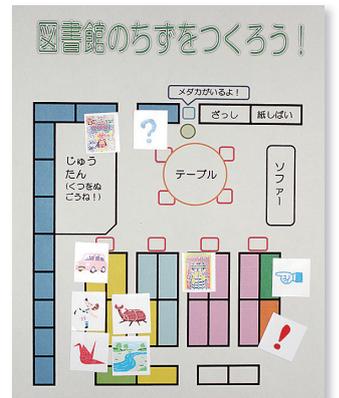
春の図書館フェア

4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、渋谷区立図書館全館で春の図書館フェア『はじめまして』を開催しました。代々木図書館のテーマは「クイズで知ろう！世界の国々」です。調べてみると、大人もへえ！面白い！と言いたくなるトリビアがいっぱい。

期間中のこうさく会は、図書館の中の「ちずをつくろう」。館の外にあるリサイクルコーナーまで見に行く子もいて、宝探しの気分でした。



左：点線を切って折ったら、あたら、小さな本になったよ 右：かいつゾロの本はどこにあるかな？くるまの本は？見つけたら、棚の見取り図にシールを貼ってね



渋谷の文字⑥ 浅井慎平

代々木にUFO現る

読者は主人公、唐津龍平とともに70年代の原宿を訪れることになりました。龍平はカメラマンで、表参道と明治通りの交差点にあるセントラルアパート671号室に、スタジオを構えていました。

一風変わったアシスタントや、個性豊かな友人とのエピソードを描いた短編が14編。友人には寺山修司や伊丹十三、石原裕次郎といった著名人も登場します。

作者の浅井慎平は現実の世界でも写真家です。あたかもフラインダー越しに見るかのような表参道の櫛から季節が伝わり、同潤会アパートの庭の様子から70年代の空気が伝わってきます。

代々木上空にUFOが現れて、カメラと三脚を用意する場面もあります。当時はUFOブームだったのですね。

セントラルアパートは原宿にかつて存在しましたが、96年に解体されました。跡地に現在は東急プラザ表参道原宿が建っています。



『原宿セントラルアパート物語』浅井慎平著 幻冬舎

最近これ読みました⑧

『つぶやき岩の秘密』新田次郎著 新潮社

70年代にNHKの少年ドラマシリーズを見ていた方々には、大変懐かしいタイトルではないでしょうか。私は、忘れていた石川セリの歌を思い出しました。『つぶやき岩の秘密』は、三浦半島を舞台にした少年冒険小説です。怪しい老人や日本軍が地下要塞に隠した金塊の謎、暗号の解読。12歳の紫郎少年がたった一人でこれらの謎に挑みます。彼にとってこの秘密を解くことは、父母の死の謎を解くことでもあったからです。紫郎少年の身を案じながらも、あたたかく見守る大人たちの姿が心に残ります。



●ご存知ですか？

代々木駅・4つの発車メロディー

代々木駅のホーム4線には、それぞれ違う発車メロディーが使われています。タイトルは、
1番線・山手線外回り(新宿方面) - 「せせらぎ」
2番線・山手線内回り(渋谷方面) - 「春」
3番線・中央総武線(三鷹方面) - 「高原」
4番線・中央総武線(四谷方面) - 「古いオルゴール」
です。聞き比べてみてくださいね。



編集後記

「春の小川」作詞者高野辰之博士が、田山花袋と世間話をしたという明治のころは代々木「停車場」。そして、平成12年には都営地下鉄大江戸線が乗り入れを開始。変遷を重ねつつも、100年以上の長きに渡り、私たちの出会いと別れを見守り続けてきた駅なのでした。

ご紹介した本は、すべて渋谷区立図書館で借りられます。